

福島県自家消費型再生可能エネルギー導入支援事業
(脱炭素×復興まちづくり推進事業) 補助金 選考方法及び選考基準

1 趣旨

この選考方法及び選定基準は、「福島県自家消費型再生可能エネルギー導入支援事業(脱炭素×復興まちづくり推進事業) 補助金審査委員会設置要綱」に基づき採択する補助事業の審査選考を実施するに当たっての選考方法及び選考基準を定めたものである。

2 選考方法

- (1) 基本項目について適合性があることを確認した上で、審査項目について評価・採点することにより選考する。
- (2) 審査は、次の方法により行う
 - ① 福島県エネルギー課は、審査委員会構成員に対し、事業実施計画書等の審査に必要な申請書類を送付する。
 - ② 審査委員は、申請内容について質問事項がある場合、福島県エネルギー課が定める期限までに当該質問事項を任意様式により提出する。
 - ③ 福島県エネルギー課は、審査委員から質問事項が出された場合は、適宜申請者に回答を求めることとする。
 - ④ 審査会は、申請者による事業実施計画等の説明及び申請内容に対する審査委員との質疑応答、又は書面審査により行う。実施の方法については、福島県エネルギー課が指定する。
- (3) 審査委員は、選考基準で定めた審査項目について評価を行う。
- (4) すべての審査委員の合計点がそれぞれ6割以上に達した申請を、採択して良い水準に達しているとする。
- (5) 委員長は、採点を行った委員全員(委員長含む)の評価に基づき、予算の範囲内において、総得点が高い順に事業採択者を決定する。

3 選考基準

審査における評価の方法は、審査委員会構成員である委員長及び委員が、次の基準により基本項目及び審査項目の評価を行う。

(1) 基本項目(要件)

項目	評価の視点	評価
1 応募資格の妥当性	交付要綱・公募要領等に定めた補助対象要件を満たしているか。	する・しない
2 申請書類の適合性	補助事業の全体像を理解し、交付要綱・公募要領等に基づき、申請書類の内容を正しく記載しているか。	する・しない

(2) 審査項目

■ 計画策定事業

項 目	評価の視点	詳 細	配 分	採 点
1 事業性	補助事業の実施及び進捗管理を適切に行う体制があること。		5	10
	本事業の目的を理解し、自家消費型再エネ設備等の導入につながる具体的な構想を有していること。		5	
2 地域社会への貢献	まちづくりや地域社会へ貢献するものであること。	自家消費型再エネ設備等が導入された施設が地域に開かれ、自家消費型再エネ設備等が暮らしの安心や地域の強みにつながることを、地域社会が実感できるものであるか。	10	20
	市町村の構想等の目標実現へ貢献するものであること。	今回の計画策定を起点とし、中・長期的な視点で継続的又は拡張性を持った再エネ導入や脱炭素に係る計画を有しているか。	10	
3 モデル性	効果性が高く、波及効果が見込まれること。	策定される計画が、自家消費型再エネ設備導入を牽引し加速化する効果性を示し、それが広く社会に認知され波及することが見込まれるか。	10	15
	県内企業の技術や製品等の採用検討があること。		5	
合 計			45	45

■ 採点の目安

5点	10点	45点	特に優れている
4点	8点	36点	優れている
3点	6点	27点	普通（採択しても良い水準に達している）
2点	4点	18点	やや劣る
1点	2点	9点	劣る

■ 設備導入事業

項目	評価の視点	詳細	配分	採点
1 事業性	補助事業の実施及び進捗管理を適切に行う体制があること。		5	15
	事業性の検討方法に妥当性と具体性があり、設備導入及びその後の運用までの事業全体の蓋然性が定量的に示されていること。		5	
	補助事業完了後の運用管理体制の検討が十分にされていること。		5	
2 地域社会への貢献	まちづくりや地域社会へ貢献するものであること。	自家消費型再エネ設備等が導入された施設が地域に開かれ、自家消費型再エネ設備等が暮らしの安心や地域の強みにつながることを、地域社会が実感できるものであるか。	10	20
	市町村の構想等の目標実現へ貢献するものであること。	今回の設備導入を起点とし、中・長期的な視点で継続的又は拡張性を持った再エネ導入や脱炭素に係る計画を有しているか。	10	
3 CO2削減効果	CO2削減の費用対効果が高い設備であること。	導入する設備の導入費用とCO2削減効果のバランスは妥当又は優れているか。	10	10
4 モデル性	効果性が高く、波及効果が見込まれること。	導入する設備や事業モデルが、自家消費型再エネ設備導入を牽引し加速化する効果性を示し、それが広く社会に認知され波及することが見込まれる事業であるか。	10	15
	県内企業の技術や製品等の採用があること。		5	
合計			60	60

■ 採点の目安

5点	10点	60点	特に優れている
4点	8点	48点	優れている
3点	6点	36点	普通（採択しても良い水準に達している）
2点	4点	24点	やや劣る
1点	2点	12点	劣る